

層が、自らの立場を自覚して、逓友同志會加入の積極的傾向を見せつゝあるは當然な事ではある。
 五、既設支部中御用組合従業員會と對立するもの十二支部である、七もこれらの中には、御用組合の形骸を留むるに過ぎないものもあるが、御用幹部に誤られた従業員會内の大衆を本會の傘下に引入れる事は急務である、局幹部の干渉抑壓に災されて全員獲得に至らない支部も相當にあるが、一層の努力を以つて全員獲得に邁進されんことを切望す。
 六、部内他團體情勢としては御用組合従業員會がある、御用組合従業員會の存立價値は本會の運動を何處迄妨害し得るかにある、逓信當局は此の點に従業員會の利用價値を認めて居る事も明瞭だ。故に其の組織も本會の組織に副ふて在り、全逓信従事員の要求たる大同團結への道を妨害しつゝある、現在する御用組合従業員會は其の悉くが逓信當局の保護の下に存在し、其の御氣遣を奉仕する御用幹部の私黨たるの感がある、然し乍ら時代の趨勢は従業員會内の大衆の自覺發憤となつて、御用幹部を置き去りにして逓友同志會支部結成を見つゝある状態だ。
 御用組合機關紙聯合時報が、一、二の忠實なる御用幹部の、本會に對する、低劣下卑なる譏諷中傷記事に依つて、毎號全紙面が埋められつゝある事實は、斯る手段を取るにあらざれば彼等御用幹部の私黨従業員會を連累する事出来なくた彼等の最後のもがきである、即ち前言せる如く一本會の運動を何處迄妨害し得るか一に依つて存立價値の決定する御用組合従業員會は其の欺瞞の本質を暴露しつゝ、何れの御用組合もが迫る當然の目標、崩壊の途を急いで居るのである。

創立支部 (昭和五年九月より昭和六年八月まで)

支部名	創立	關係	局	役員	組合員身分
名古屋赤塚支部	五、九、二二	名古屋赤塚郵便局			一人

在 原 支 部	五、一〇、二六	大崎郵便局在原分室			一人
東 工 葵 町 支 部	五、一一、一五	東京逓信局 工務課屋内班			一人
勝 川 支 部	五、一一、一六	愛知縣勝川郵便局			一人、一人
大 崎 支 部	五、一一、二五	大崎郵便局			一人
名 古 屋 笹 島 支 部	五、二二、一六	笹島郵便局			一人
名 古 屋 赤 塚 第 二 支 部	六、二、八	名古屋赤塚郵便局 保險部			一人
經 理 局 製 機 支 部	六、三、二七	經理局需品課製機係			一人
東 京 鐵 道 郵 便 局 支 部	六、七、八	東京鐵道郵便局			一人、一人
廣 島 三 原 支 部	六、八、一六	廣島縣三原郵便局			一人、一人

外ニ東工半込分會(半込電話分局駐在、雇傭人)ガ六、六、三創立